

ARJUN RAINA THE MAGIC HOUR



IN

ケルカリ KhelKar i =

カタカリ—Kathakali (16~17世紀頃成立) インド、ケララ州の古典舞踊劇。物語は数百種類の手と顔のジェスチャーの型によって表現される

×
シェイクスピア—Shakespeare (1564~1616年) 英国の劇作家、詩人。代表作に「ハムレット」「オセロー」「夏の夜の夢」など。

KHELKALI

PERFORMANCE + WORKSHOP

アルジュン・ライナ
マジック・アワー

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター主催

Arjun Raina, The Magic Hour in KhelKali ● 作・演出・出演 アルジュン・ライナ
ワークショップ ● 二〇〇六年五月 三〜二十六日 / パフォーマンス ● 五月 二八・二九日

マジック・アワー

アルジュン・ライナ

＜マジック・アワー＞—ポストコロナルが見る＜夢＞

マジック・アワー、いいかえれば＜魔法の時間＞…。

たとえばふたつの異なる文化が＜現実＞の世界で出会うとき、えてして争いが生まれ、戦争が起こる。けれども、ふたつの異なる文化が＜魔法の時間＞の中で出会うとしたら、どんなことが起こるだろうか？

たとえば、こんな光景である——耳に響く心地よいリズムは、たしかにシェイクスピアの名場面。それなのに、どんなに目をこすっても舞台には不思議な扮装の男がひとり。男はインド・ケララ州に伝わる古典舞踊劇・カタカリの衣装に身をつつみ、シェイクスピアの登場人物をカタカリの身振りで堂々と演じてみせる。それなのに、いつのまにかシェイクスピアにそっくりのインド神話が接続され、あつけにとられた私たちの前に、今度は男がとつぜん＜説明役＞を自称するピーター・ピレイなる人物として現れる。カタカリの技法を解説しながら、自由奔放にしゃべりまくる＜説明役＞のピレイ。だが、そのとき私たちは不意に気づくのだ。カタカリもシェイクスピアも、実はほとんど同時期に誕生した芸術なのだということを…。

ふたつの世界演劇が同じ時代に生まれたという＜夢＞のような現実。それとも、ふたつが同じ時代に生まれたことに気づかずいた私たちの現実の方が、そもそも＜夢＞というべきものだったのか？ ＜魔法の時間＞は、その問いを黙って見つめ、あらゆる時空を深い森の闇に飲み込んだまま、歴史のもうひとつのリアリティを、時折妖精のようにかいま見せてくれるばかりだ。

(森山直人=京都造形芸術大学・舞台芸術研究センター主任研究員)

●パフォーマンス PERFORMANCE

現代インドの劇作家・パフォーマー、アルジュン・ライナによるソロ・パフォーマンス。インドの古典舞踊劇カタカリとシェイクスピアを融合した、オリジナルの表現様式である「ケルカリ」を使って『夏の夜の夢』『オセロー』や、カタカリの古典的な名場面などが演じられます。

日時 2006年5月28日(日) 15:00開演

終演後…ポスト・パフォーマンス・トーク

5月29日(月) 18:00開演

終演後…シンポジウム(会場:学内NA402)

「＜マジック・アワー＞がひらく世界(仮)」

パネリスト: アルジュン・ライナ

鴻 英良(演劇批評家)

※開場は開演の30分前

会場 京都芸術劇場 studio21

(京都造形芸術大学内)

料金 一般 前売 2,000円/当日 2,500円

学生&ユース 前売 1,500円/当日 2,000円

(25才以下)

※学生&ユース券は学生証が年齢のわかるものをご提示下さい。

※全自由席 ※未就学児童のご入場はお断りします。

チケット取扱 ●京都芸術劇場チケットセンター

TEL 075-791-8240(平日10~17時)

●電子チケットびあ <http://t.pia.co.jp/>

TEL 0570-02-9966 (オペレーター対応)

TEL 0570-02-9999 (Pコード 368-910)

●JCDNダンスリザーブ

 <http://dance.jcdn.org>

●ワークショップ WORKSHOP

「ケルカリ」について、本作『マジック・アワー』の構成をもとにアルジュン・ライナみずからワークショップを行います。作品に流れるコンセプトを、怒り・喜びといった9つの感情表現、ステップ、手の動きなど、基本的な表現の言語(型)を通して体感する4日間です。

日時 2006年5月23日(火)~26日(金)

18:30~20:30 4日間連続

会場 京都芸術劇場 studio21

(京都造形芸術大学内)

参加料金 一般 4,000円 学生&ユース 3,500円

(25才以下)

※学生&ユース券は学生証が年齢のわかるものをご提示下さい。

定員 20名

参加資格 4日間連続参加可能な方。経験不問。

申し込み方法

下記問合せ先まで、TEL/FAX/e-mailにて名前、電話番号、ダンス経験を明記の上、事前にお申込み下さい。

申し込み締切 5月10日(水) 応募者多数の場合は抽選。

ご参加いただけない場合もありますので、ご了承下さい。

●主催・問合せ

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271京都市左京区北白川瓜生山2-116

tel. 075-791-9437 fax. 075-791-9438

e-mail info@k-pac.org

URL <http://www.k-pac.org/>

■会場へのアクセス



JR「京都」駅 → 京都市バス5番「岩倉」行き乗車
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分)

市営地下鉄
「丸太町」駅 → 京都市バス204循環に乗り、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(約15分)

京阪電鉄
「出町柳」駅 → 叡山電鉄に乗り換え、
「茶山」駅下車、徒歩10分。
タクシーで10分

◇駐車場はございません。



■アルジュン・ライナ Arjun Raina

1963年デリー生まれ。デリー大学卒業後、1987-88年ロンドンの芸術アカデミー(The London Academy of Music and Dramatic Art)に留学。1990年-ニュー・デリーのカタカリ国際センターでカタカリの訓練をうける。1990-95年ニュー・デリーの国立演劇学校(The National School of Drama)で演技・発声を講じる。1995年オールド・デリーに実験演劇センター「リーラ・ア・エラヒ」(Leela a Elahi)を開設。1997年カタカリを使った新しい演劇様式の確立をはかり、カタカリにインスピレーションを受けつつ、「伝統演劇」の限界を破る独自の手法を、ケルカリ KehlKali と命名。ラオコオン演劇祭2002(ドイツ)をはじめ、国際的に活躍する現代インドの演劇作家であり、パフォーマーである。